



当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2023年10月1日
日本フォームサービス株式会社
代表取締役社長 齋藤太誉

第68期 行動目標

1. 製品・サービス



環境に配慮した製品やサービスの開発・製造・販売を通じて、社会課題の解決や脱炭素社会の実現に向けて貢献していきます。

▶ 指針

液浸冷却装置「ICEraQ®」の販売を通じて脱炭素社会実現に貢献します。

▶ 行動目標

「ICEraQ® Nano」の販売を年間5件実施します。

日本のデータセンターの平均PUE2.0を考慮し、年間の空調使用削減を計算すると、6kwh×24h×365日 52,560kwhの空調消費電力削減となります。環境省発表「令和5年度 電気事業者別排出係数」より、東京電力パワーグリッドの基礎排出係数(0.000434(t-CO₂/kwh))を用いてCO₂排出量を算出。52,560×0.000434=22.8 年間約22.8トン-CO₂の削減に貢献しています。

ICEraQ® Nanoの熱処理能力: 6kw / PUE: 1.03 ※PUE: PUE(Power Usage Effectiveness)とはデータセンターの電力消費効率の指標となります。PUE=(データセンター全体の消費電力/データセンター内IT機器の消費電力) ※値が小さい程効率的日本の標準的なデータセンターのPUEは「2.0」程度です。

年間CO₂削減効果



2. 人権・働きがい



社員が安心して安全に働ける環境づくりを実現する為、労働環境、健康管理や人財教育の整備を通じて社員とともに成長する企業を目指します。

▶ 指針

本社勤務社員のテレワーク実施率10%を目指します。

▶ 行動目標

週1回のテレワーク実施率を本社勤務社員の10%(5人)にします。

本社勤務社員(現在50人)の多機能的なワークスタイル提供の一環として、第68期より段階的にテレワーク実施を普及して参ります。勤怠システムの更新、執務エリアのフリーアドレス化を通じ、環境作りからもサポートします。

参考: 2023年現在の東京都でのテレワーク実施率(51.7%)

▶ 指針

職務、役割に応じた研修実施や資格取得の支援を実施します。

▶ 行動目標

資格試験受験者の70%合格を実現します。

前年度資格取得計画者24名/合格者9名(64%)でした。

3. 環境保全



省エネ、CO₂削減に資する取り組みを推進し、事業に伴う環境負荷の低減に取り組むことで、持続可能な製造・販売体制の構築を目指します。

▶ 指針

自社太陽光発電施設の維持・管理を通じて、省エネ推進に貢献します。

▶ 行動目標

千葉工場太陽光発電施設の年間発電量(アベレージ)を100%維持します。

2021年度の年間発電量は332,532kwhでした。環境省発表「令和5年度 電気事業者別排出係数」より、東京電力パワーグリッドの基礎排出係数(0.000434(t-CO₂/kwh))を用いてCO₂排出量を算出。332,532×0.000434=144.3 年間約144.3トン-CO₂の削減に貢献しています。

年間CO₂削減効果



▶ 指針

ISO14001の取組みを通じて持続可能な製造・販売体制の構築を目指します。

▶ 行動目標

千葉工場のCO₂排出量を前期比3%削減します。

2021年度の千葉工場におけるCO₂排出量は723,409kg-CO₂でした。第68期は2021年度の3%、21,700kg-CO₂を削減し、701,709kg-CO₂を目標とします。

年間CO₂削減効果



▶ 指針

ペーパーレスを実施します。

▶ 行動目標

社内保管文書のペーパーレス化80%達成します。

これまでの社内保管文書総数は年間約18,000枚(A4換算)でした。今年度までに約10,000枚のペーパーレス化を実現しました。第68期は更に約4,500枚の文書をペーパーレス化し、総数80%のペーパーレス化を目指します。(6.12kg-CO₂の削減)

年間CO₂削減効果



4. 公正な事業慣行



コンプライアンスとガバナンスを遵守し、情報の適切な取り扱い実施や事業継続体制の構築など、公正な事業慣行の実践を通じて、お客様や地域社会から信頼される企業を目指します。

▶ 指針

インボイス制度や電帳法対応など新たに施行される体制に適切に対応します。

外部から専門家を招へいし、理解度を深めることで安全で公正な事業慣行を実現いたします。さらにWEB学習による定期的なアフターフォローを行うことで、常に最新の情報を全社に共有し体制を維持します。

▶ 行動目標

コンプライアンス、法令順守に関する全社研修を年2回実施します。